

# 花壇づくりワークショップ ニュースレター

# Vol. 02

令和元年9月25日号



日時：令和元年9月25日（水）  
9：00～12：00

場所：馬見丘陵公園 緑道北口  
花サポーター花壇横

参加者：19人

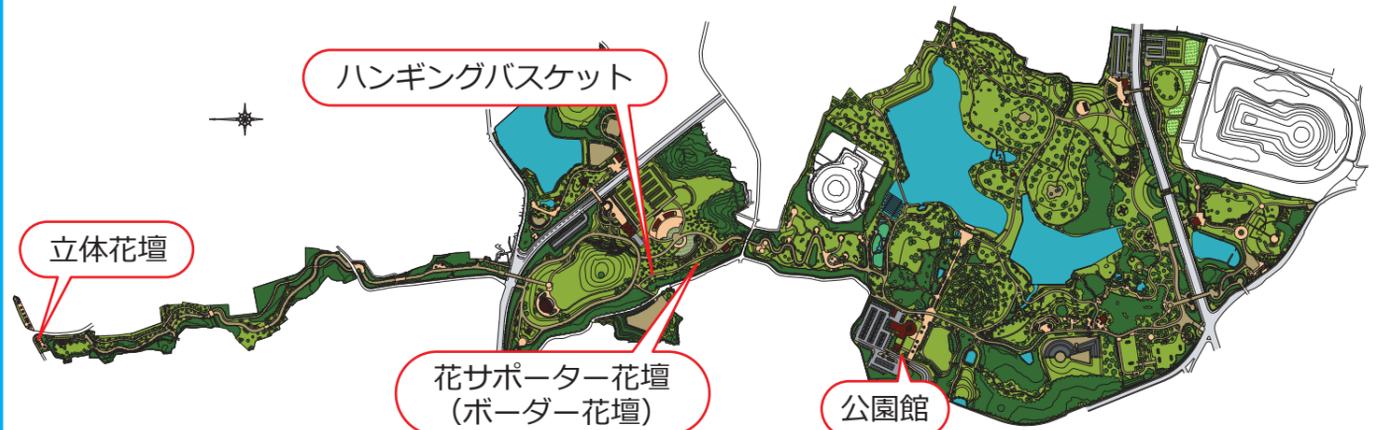
- 9：00～9：10 全体説明
- 9：10～9：15 移動
- 9：15～9：45 ハンギングバスケット設置
- 9：45～10：10 移動
- 10：10～12：00 立体花壇作成



## 秋のフラワーフェスタに向けて

作業当日はとカラッと晴れ、暑さも落ち着き、とても天気にも恵まれた絶好のガーデニング日和となりました。9/13に作成したハンギングバスケットの設置と、立体花壇の作成を行いました。ハンギングバスケットは、花サポーター花壇と県民共同花壇の間に設置しています。また、立体花壇は緑道北口に作成しました。

緑道北口は、公園の中心部からは離れていますが、近鉄池辺駅や河合町役場、河合町町民プールを利用する方等が通り、歩行者だけでなく車からも見える位置になっています。人の目線の高さちょうど見える位置に花があるので、お近くを散歩される際など、ぜひ見てみてください。



▲馬見丘陵公園全体図



## ハンギングバスケットの設置



▲ハンギングバスケット全体（7基）

ハンギングバスケットは、全部で35個作成しました。秋の色合いを意識して、イメージカラーをレッド系（11個）、イエロー系（12個）、パープル系（12個）とし、7つのスタンドに5個ずつ吊るして展示しました。

これらの並べ方について、バラバラにするか規則的にするか、現地で仮置きしながら検討しました。中心のスタンドには全ての色を混ぜて吊るし、1つのスタンドには1色ずつ、全体が対称になるように並べました。



▲レッド系



▲イエロー系



▲パープル系

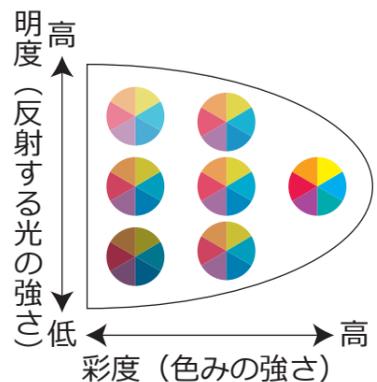


▲全ての色を混ぜて展示



▲赤と緑、黄と紫など、正反対の位置に色を「補色」と言います。

左図のマンセル色相環は色相を環状に並べたもので、隣り合う色を順に追うとグラデーションになっています。色相環図で正反対に位置する関係の色の組合せのことを「補色」と言い、お互いを強調させる関係があります。今回もイエロー系とパープル系が補色関係なので、隣に並べることでメリハリのあるデザインとなっています。



また、彩度とは、色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど目を惹く効果があります。今回はアカバセンニチコウやゴシキトウガラシ（ブラックパール）等の彩度の低いカラーリーフを使って、秋らしい落ち着きを演出しました。



# 立体花壇の作成

立体花壇の作成は、上部のフラワーボールづくりと下部の花壇づくりに分けて作業を行いました。フラワーボールにはめ込む苗の準備工程が多く、作業量も多かったのでとても時間がかかりました。



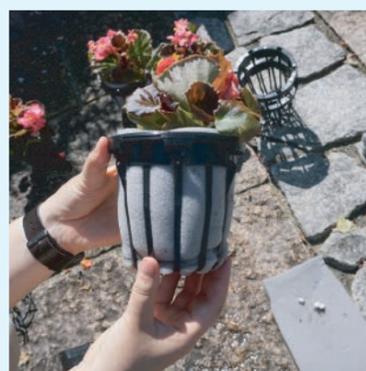
**1** 準備物は以下の通り  
・苗（ベゴニア）  
・水苔  
・保水スポンジ  
・専用鉢  
・ストッパー  
・緩効性肥料



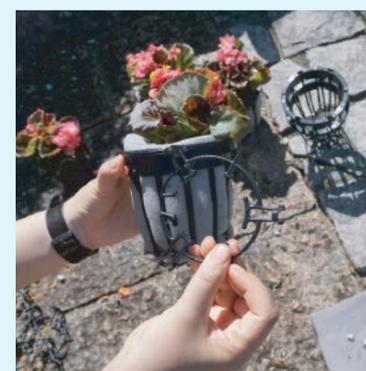
**2** ビニールポットを外した苗の根鉢の側面に緩効性肥料を4～5粒埋め込みます。



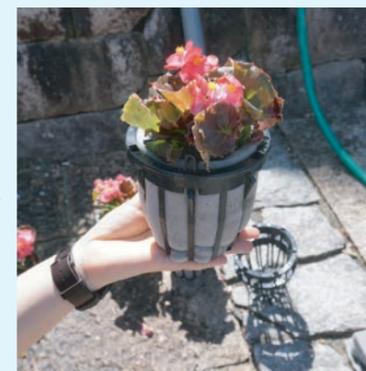
**3** 苗の根元に水苔を敷きつめ、根鉢をスポンジで巻きます。



**4** スポンジで巻いた苗を専用鉢に差込みます。この専用鉢は9.0cmのポット苗に適した大きさとなっています。



**5** ストッパーで根元を固定します。カチッと音がするまで差し込むと、鉢をひっくり返しても苗が落ちません。



**6** ユニットの完成です。フラワーボール1球につき48個必要なので、48個×6球=288個このユニットをひたすら作成しました。



1～6で作成したユニットを、フラワーボールにはめ込みます。上段のフラワーボールに濃桃、中段には白、下段には赤いベゴニアをセットしました。灌水用のチューブを苗の根元に差し込み、そこから自動灌水が行われます。

高い位置の作業では脚立を使用しましたが、ほとんどが目線の高さのものだったので、手を伸ばしながら作業を行いました。逆さまにはめ込んでも落ちてこないようになっています。



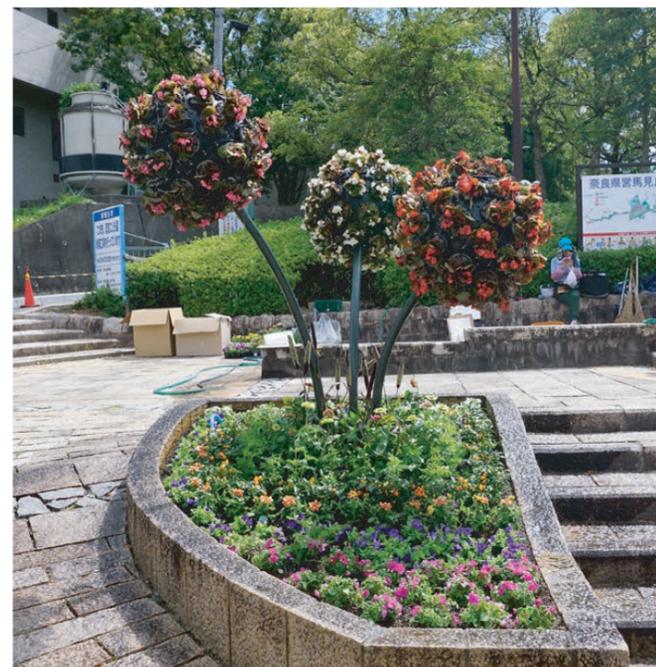
上部のフラワーボールにすべてユニットをはめ終えた後、下部の花壇づくりに取り掛かりました。立体花壇の基礎が浅い位置に埋まっているので、場所によって根鉢が当たってしまうところがありました。四角く枠どった形がゆがまないように気をつけながら苗の位置を調整したり、土を盛るようにして植えるなどの工夫をしながら、全体の形を整えました。



園名石側の花壇の完成形です。ポールの足元にキバナコスモス、その外側にセロシヤ・インテンツ、ジニア・プロフュージョン（オレンジ、イエロー）を植えています。

花壇施工当日は、キバナコスモスがまだ蕾の状態でしたが、フラワーフェスタが始まるころには咲き始め、さらに華やかに変わります。

立体花壇のベゴニアは銅葉なので、秋らしい落ち着いた雰囲気演出しています。



階段側の花壇の完成形です。フラワーボールは園名石側の花壇と同じですが、下部の花壇の面積が広く、階段に沿って勾配が付いています。

ポールの足元にミレット、ジニア（クイーンシリーズ）、キバナコスモスを植え、その周りは植栽柵の形に添ってゴシキトウガラシ、ジニア・プロフュージョン、ペチュニア、インパチェンスといった背の低い苗を植えています。ミレットとジニアの色の組み合わせがとてもきれいです。